

CI-NET導入事例

(地域総合建設企業 中部)

一般財団法人 建設業振興基金
情報化評議会

平成26年3月

本事例の特徴

コンプライアンスの向上を目的
とした電子化への取り組み

CI-NETの導入による注文書発行～請書受領の
リードタイム短縮で、着工前請書受領実施率
100%を目指す

1. 2. 企業プロフィール

■企業の規模

- ◆資本金 : 4億円
- ◆従業員数 : 350名
- ◆完工高 : 300億円(土木 1%、建築 84%、他 15%)

■業務の規模

	全体	EDI化対象数	EDI化率
取引先数	1030社	64社 (2013年12月末現在)	6.2% (件数ベース)
注文件数	約2,900件/月		
請求書件数	約2,900件/月		

3. 対象業務範囲

■対象範囲(分野、地域、区分)

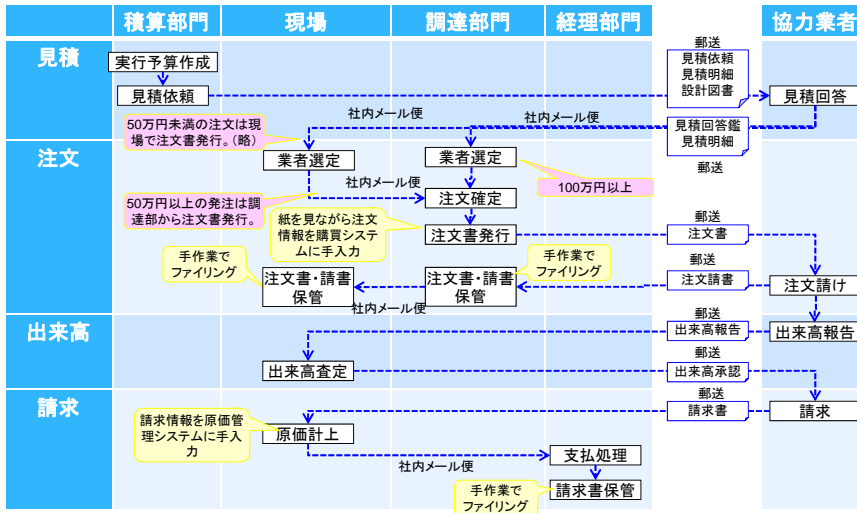
	対象範囲		
分野	建設	土木	リフォーム
地域	本店	支店	全営業所
区分	労務	資材	外注
	(50万円以上の注文のみ)		

■対象範囲(業務)

連絡業務(EDIメッセージ)	対象範囲(発注者として)
下見積(依頼・回答)	×
購買見積(依頼・回答)	×
注文(注文・注文請け)	○(明細、鑑変更や解除を含む)
出来高(確認・承認)	×
請求(請求・確認)	×
立替金	×

4. 業務プロセス(導入前)

→ : 電子の流れ
 - - - : 紙の流れ

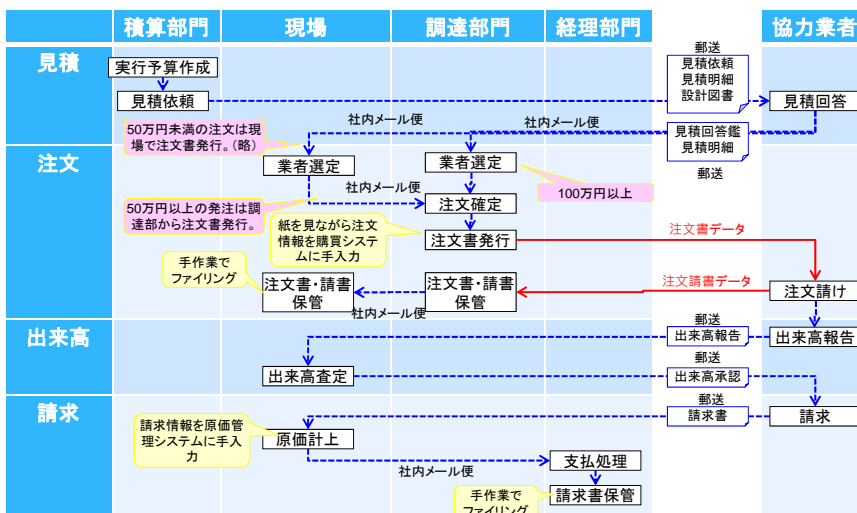


Copyright © 1997.6.-CI-NET All rights reserved.

4

4. 業務プロセス(導入後)

→ : 電子の流れ
 - - - : 紙の流れ



Copyright © 1997.6.-CI-NET All rights reserved.

5

5. システム概要

■EDIシステム

- ◆構成パターン : ASP活用タイプ I (連携利用)
- ◆利用サービス、ソフトウェア : WEBCON(株式会社富士通マーケティング)

■社内システム

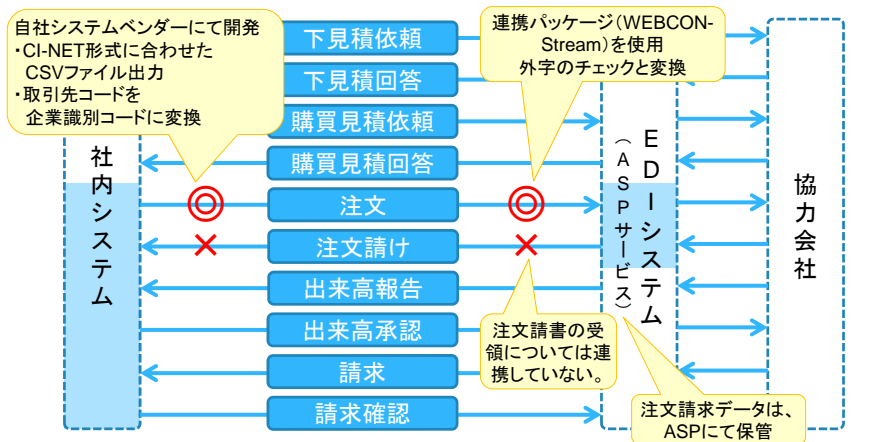
- ◆数量積算 : -
- ◆実行予算 : -
- ◆原価管理 : -
- ◆注文・購買 : 自社開発(外注)
- ◆工事管理 : 自社開発(外注)
- ◆経理・会計 : 自社開発(外注)
- ◆その他 : -

Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

6

5. システム概要

■社内システムとEDIシステムの連携方法



Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

7

6. 導入・拡大検討の動機、きっかけ、導入に至った経緯等

■ 導入検討の動機

- ◆ 注文書は着工前に発行できているが、着工前に請書が受領できているのは、約1割にすぎない。(25年度4～5月実績)
- ◆ 理由としては注文書発行から請書受領までのリードタイムが長い(25年度4、5月実績で約9日)ことが考えられる。

- ◆ 電子商取引システム(CI-NET)の導入により、注文書発行から請書受領までのリードタイム内訳の主要因である、「進捗管理による取引先滞留時間の低減」、「電子化による郵送時間の削減」を実現し、請書受領までのリードタイム短縮(平均2日)を目指したい。

■ 導入検討のきっかけ

- ◆ 経営層の判断による

■ 社内上申書の概要

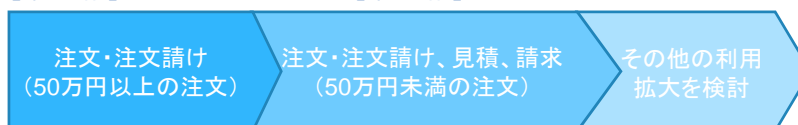
- ◆ CI-NETの概要
- ◆ 背景、目的、目標
- ◆ 導入費用
- ◆ 導入効果
 - 注文書の発行から請書の受領までのリードタイムが短くなることで、工事着工前に請書を受領できる割合が大幅に増える。
 - 現状: 工事着工前に請書受領する比率11%
 - CI-NET導入後: 同62%(電子化率70%で試算)

7. 進め方(導入フェーズ)①

■ 導入ステップ

【第1段階】

【第2段階】



- ✓ 取引額の比較的小さい仕入先
- ✓ 調達部以外の営業所
- ✓ 購買見積り、出来高報告、下見積り、請求

■ 実施体制(推進主体)

- ◆ 調達部員 2名
- ◆ 情報システム部門 2名

7. 進め方(導入フェーズ)②

■実施体制

- ◆ 調達部員2名
- ◆ 情報システム部門2名

■導入スケジュール

	2013 第1四半期	2013 第2四半期	2013 第3四半期	2013 第4四半期	2014 第1四半期
社内導入検討 (着手～社内承認)	2カ月				
設計 (ベンダー選定、業務フロー 検討)		2カ月			
プログラム開発		5カ月			
テスト、試験運用				3カ月	
本運用開始					3カ月

Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

10

7. 進め方(運用フェーズ)

■教育・研修等・・・説明会開催

- ◆ 体制... 調達部、ASP事業者
- ◆ 頻度... 4回(取引額の多寡に応じて、既導入、未導入企業向けに説明会を実施)

◆ 内容

内容	既導入企業	未導入企業
CI-NETの概要		○
導入パターン		○
導入経緯	○	○
導入範囲	○	○
導入手続き		○
スケジュール	○	○
申し込み受付先	○	○

◆ 対象者

対象者の内訳	既導入企業	未導入企業
年間取引額5千万円以上	26社	26社
その他	48社	141社

Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

11

8. 導入・運用費用

金額: 税抜

	初年度	2年目	3年目	4年目以降
社内システム改修費	1,300,000円	0円	0円	0円
企業コードの取得	32,000円	0円	0円	以降、3年ごとに 40,000円
電子証明書	6,500円	0円	0円	以降、3年ごとに 6,500円
ASP登録料	124,000円	0円	0円	0円
ASP利用料(円/年)	106,000円	106,000円	106,000円	106,000円

※ ASP利用料には、連携機能、データ保管(上限1GB)を含む。



- ◆ CI-NET導入当初から経費、工数の削減効果額(トータル見込501,600円/年)がランニングコストを上回るうえ、電子化率の上昇に比例して効果額もアップする。
- ◆ これにより4年程度で投資の回収が可能。

9. 導入効果(定量効果)

金額: 税抜

	導入前	導入後	削減量(年間)		
経費	紙代		3,600円	219,600円	
	封筒代		36,000円		
	郵送代		180,000円		
作業工数	注文書印刷	0.5分/件	0分/件	19h	282,000円
	明細をコピーして添付	1.7分/件	1.7分/件	0h	
	決済処理(回覧、押印)	0.9分/件	0分/件	34h	
	注文書を封筒詰め	0.5分/件	0分/件	19h	
	注文書発送作業	0.4分/件	0.1分/件	11h	
	請書の受領、内容確認	0.3分/件	0.3分/件	0h	
	請書の保管	0.3分/件	0分/件	11h	

※年間の注文件数4,000件(24年度実績)に対する電子化率を60%と想定した場合。
 ※注文1件あたり5枚の紙を使用。
 ※人工費は、1時間3,000円として試算。

9. 導入効果(定性効果)

■時間短縮

- ◆注文書発行～注文請書受領までのリードタイムを平均 9日 ⇒ 2日 に短縮。

■法令遵守、内部統制

- ◆注文書の発行から請書の受領までのリードタイムが短くなることで、工事着工前に請書を受領できる割合が大幅に増える。

10. 今後の計画

■今後の計画

対象業務	<ul style="list-style-type: none">● まずは50万円未満の注文についての導入検討を行う。● その後、状況を見て必要であれば、購買見積り、出来高報告、下見積り、請求について順次検討を行う。
対象地域	<ul style="list-style-type: none">● 当面は調達部のみでの運用。● 対象業務の拡大に伴う各営業所での運用の可能性あり。
対象業者	<ul style="list-style-type: none">● 対象業務の拡大に伴い、業務の効率化によるコストメリットが出やすくなった場合、取引額の比較的少ない仕入先にも導入を再度打診する。